資料5

5. 鳥獣被害対策事業　拡

（予算額）22，990千円
（所管課）農業支援課　鳥獣対策室

○熊本市有害鳥獣駆除隊等への捕獲支援拡大や市民協働による鳥獣対策の推進及び地域活動支援等に要する経費

現状・課題

○捕獲体制の強化に加え、鳥獣のすみかとならない環境整備などを地域と一緒になって進めた結果、イノシシによる農作物被害は減少傾向にある。

○一方で、**中型獣類（アナグマ、タヌキ）による被害額は横ばい**で、本市主要品目であるスイカ等への被害が続いている状況。

事業概要

○事業費：22,990千円

○事業内容

（1）有害鳥獣の捕獲対策の推進【18,696千円】［拡充］

有害鳥獣の捕獲・侵入防止用の資機材を整備するとともに、捕獲を依頼している熊本市有害鳥獣駆除隊等への捕獲活動に対する支援を行う。

≪積算内訳≫

・有害鳥獣の捕獲資機材の整備等：　4,460千円
・熊本市有害鳥獣駆除隊への支援：13,796千円
・中型獣類の捕獲強化（報償費上乗せ）　440千円

（2）市民との協働による鳥獣対策の推進【794千円】

自治会や地域の代表者を中心とした地域住民との連携及び協働で鳥獣対策推進を行う。

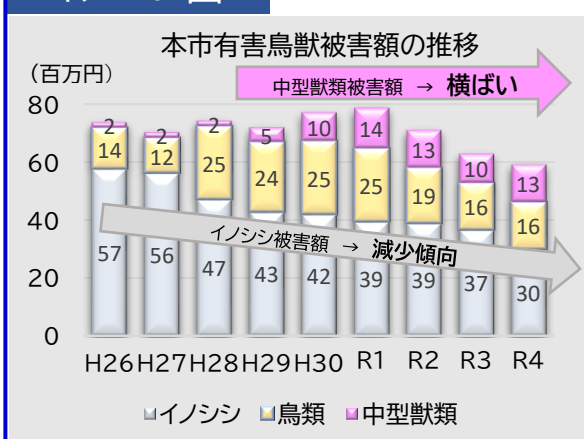
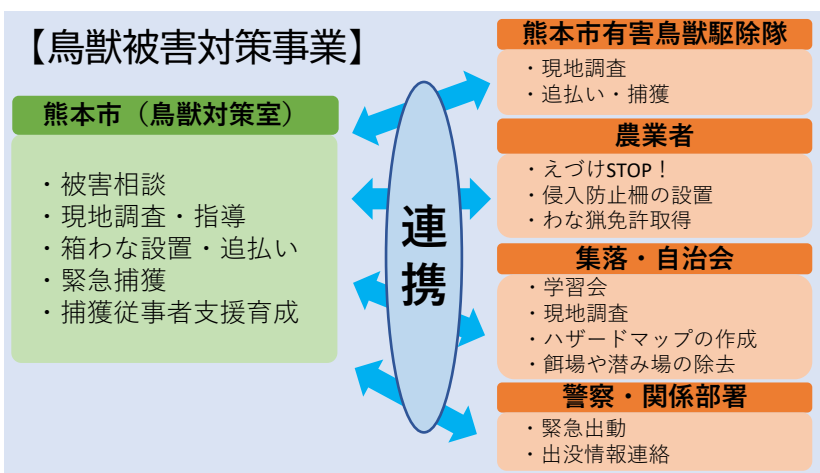
≪積算内訳≫

・地域ぐるみの勉強会や鳥獣対策活動支援・箱わな等備品購入費：794千円

（3）ミヤマガラス対策経費【3,500千円】

毎年11月～3月に中国大陸から渡来するミヤマガラスが、市街地の樹木や電線等をねぐらとすることで発生する糞害等の対策として、警戒音声による追払い活動を継続・強化する。

≪積算内訳≫

・委託料：3,500千円

イメージ図